



# 祐介の目

No.115

大田祐介 (福山市議会議員)

## みらい創造ビジョン

福山市の今後5年間の経営計画書とも言える「福山みらい創造ビジョン」が策定された。現状の合計特殊出生率1.6から1.9を目標として人口減少を抑え、福山市の将来の担い手を確保する計画である。子育て環境整備等により出生率を上げるほか意欲的な数字が並ぶが、計画倒れにならないよう副議長として何点か要望した。ちなみに年間の出生数は3600件あまりだが、他に中絶件数が5、600件あり、仮にすべて出生していれば1.9を達成できるそうだ。

まず医療提供体制の確保策として、全国的に不足している産科・小児科医、看護師を大幅に増員する計画だ。これは産業団地を整備して企業誘致する等の都市戦略と同時進行でなければならぬ。医療現場の魅力をアップさせる等の人材誘致策が必要だろう。次に道路・橋梁等のインフ

ラ整備について、福山市は延長3600kmの市道と3100の橋を有している。包括外部監査人から道路等の新設・増加から維持又は廃止・減少への転換を検討するよう意見も出されており、インフラ拡大路線を改め、土木事業者を耕作放棄地の解消や放置された人工林の整備等に振り向ければ、防災・減災にも資するだろう。

3点目に持続可能社会に向けた農林水産業振興である。担い手の教育という観点から再編した学校を活用して子供の農山漁村体験ができる自然体験学校の創設を提案した。今の子供に不足している一次産業の体験を通して、農林水産業に興味を持つよう子供も必ずいるはずだ。

私も中学生の頃に親に農業をやりたいと言ったことがあるが、食べていけないと言下に却下された経験がある。しかし40歳を過ぎて山野町で農業を始めた。儲からないが、地域貢献というやりがいを糧にしている。行政には儲からないがチャレンジしている一次産業就労者の支援や、教育委員会には金儲けより社会的使命や責任に重きを置くような子供の育成に尽力して欲しい。ビジョンの策定はスタートである事を忘れてはならない。